

JX室蘭 製油所機能停止

道工業用水事業 影響も

企業局 契約水量の1割占める

JX日鉱日石エネルギー（東京）が2014年3月に室蘭製油所（室蘭市）の燃料油生産の停止を発表した問題で、道企業局は8日、同製油所の工業用水の契約水量が道内全体の1割超を占めることを明らかにした。同製油所の事業転換が道営の工業用水道事業に影響する懸念があり、同局は「今後の動向を見極めたい」としている。

特別委で同局は「引き続き経営効率化や需要開拓に取り組む」と強調。さらに「室蘭市や経済団体と一体となって製油所の存続要望を展開しており、製油所の事業再構築の動向を見極めたい」とした。

同日の道議会決算特別委員会で、梶谷大志道議（民主党・道民連合）の質問に答えた。

同局は「室蘭地区」（室蘭、登別）など道内3か所で工業用水の供給事業を行っている。道内総契約水量の日量25万486トに対し、同製油所の契約は日量

2万8550トを占め、昨年度と同製油所からの道収入は1億9000万円だった。

道工業用水道事業会計は、昨年度決算で1998年度以来の黒字を計上したが、累積欠損金は222億2000万円あるなど経営状況は厳しい。